

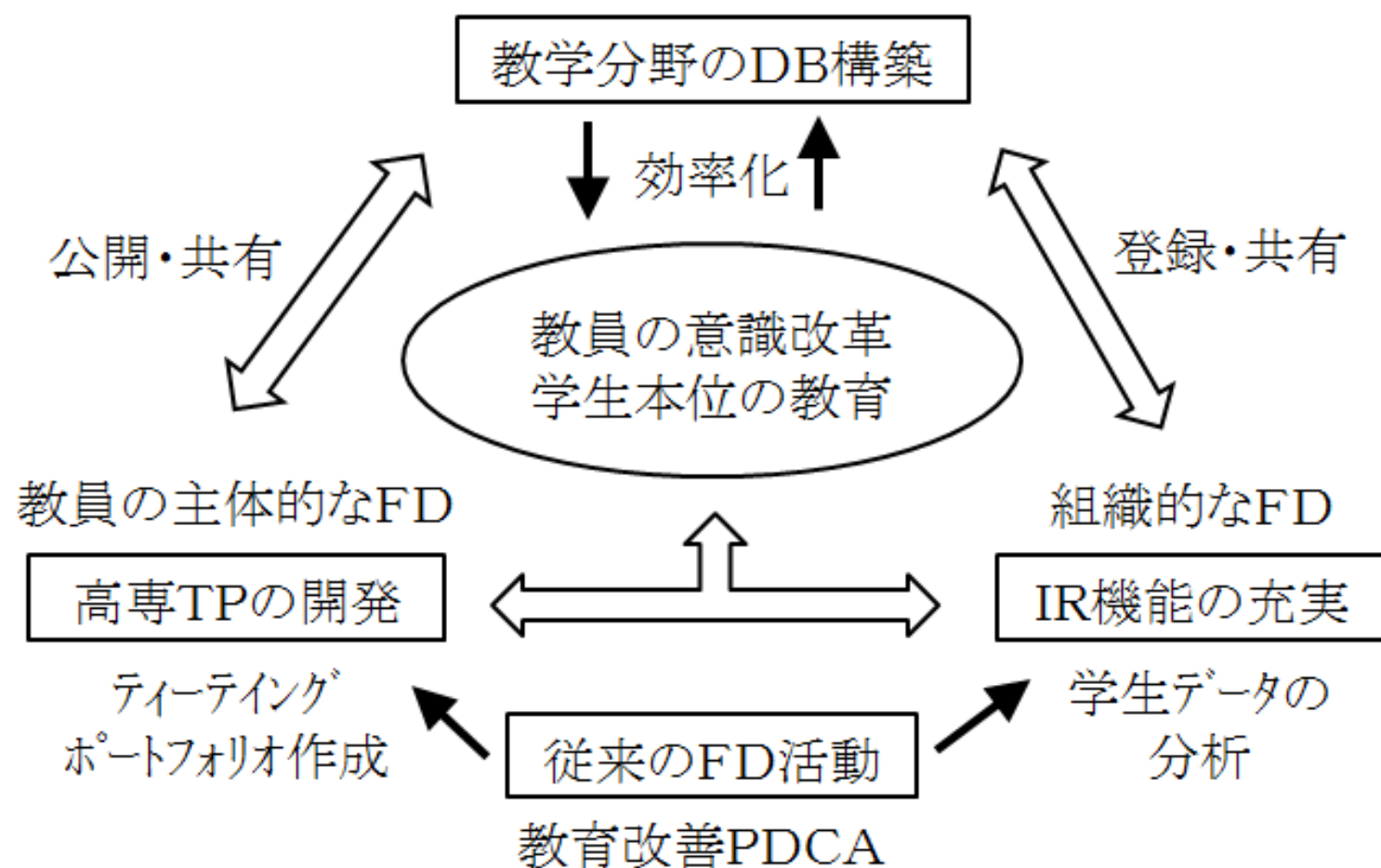


教学分野DBの開発報告

 阿南高専

FD高度化推進室

後藤田 浩二



FD高度化支援TP－IRプログラムの構築

取組の概要

本取組は新たな手法であるTPとIR機能を融合させた全学的FD活動によって、**教員の意識改革**とデータ分析に基づいた**学生本位**となる独自のFDプログラム開発を加速し、**FDを実質化**する

I. 高専TPの開発(目標)

- 期間内に5回のTP作成ワークショップを開催
- 本校教員30人以上がTPを作成し、そのうち10人以上がメンターを経験
- 新任教員は先輩教員をメンターとする長期間のメンタリングを実践
- 作成したTPを毎年更新するシステムを構築



業務範囲の広い高専教員に適したTPを開発

Ⅱ. IR機能の充実(目標)

- 学生による授業評価アンケート結果を分析し、改善が必要な項目を抽出
- 学生実態調査を実施し、成績データとの関係性を分析
- 分析結果を学内で共有できるように各部署の協働を推進



客観的データにもとづく教育力向上

Ⅲ. 教学分野のDB構築(目標)

- 様々なFDに係わるデータ・試験答案等の教務データ等を各教員が電子化し保存することによりDBが作成されるシステムを構築
- このDBを活用し、学科ごとに試験内容・評価方法、学生の自学自習内容等を検証
- 学習支援ミーティングにおいて活用し、多様な学生の履修を支援



成績評価の厳格化、留年率の低下

教学分野のDB構築

成績データ

学生連絡先

学習支援

学生指導

担任指導

授業科目

科目担当

シラバス

クラブ

就職先

役職

クラス

グループ

委員会

学生

教職員

卒業生

パスワード管理

アクセス管理

TPファイル

IRファイル

寮生

役員寮生

セキュリティ対策

【WEBアプリでのセキュリティ】

- ①入力データの妥当性チェック
- ②エラーメッセージ表示
- ③セッションハイジャック対策
- ④多重ログイン禁止
- ⑤権限設定(アクセス制御)
- ⑥アクセス権限設定ユーザの開示
- ⑦SQLインジェクション対策など

アクセス制御

【学生の個人情報対策】（限られたメンバーにしかアクセスできない）

①リソースとロールによるアクセス制御

ロール権限によるメニュー表示制限

コマンドのアクセス制限

②管理部門・役職・教員によるアクセス制御

管理部門・役職・教員による学生情報の参照制限

メンバ設定・メンバ開示（管理部門・役職のメンバのみ）

編集禁止（作成者限られたメンバ以外）

【ユーザビリティ】（入力操作の使いやすさ・使い勝手）

対象学生の入力選択項目の絞り込み

ユーザごとの検索項目の保存

学習支援ミーティング記録簿(1年)

学習支援ミーティング記録簿 (1年)

1. ミーティング実施日

回	実施日	実施時間	面談教員サイン	場所	学生サイン
1	5/11(木)	16:00 ~ 16:15	高山直子、今田浩二	高山教員室	井内 豊
2	7/14(水)	18:45 ~ 19:00	高山直子、文部倫理	教員室	井内 豊
3	11/17(水)	16:10 ~ 16:25	上原 信子	上原教員室	井内 豊
4	1/17(月)	15:30 ~ 15:45	上原 信子	上原教員室	井内 豊

2. 学生生活全般について (部活、アルバイトの有無等)

1	2	3	4
バレーボール部 ボランティア部	バレーボール部 ボランティア部	バレーボール部 ボランティア部	バレーボール部 ボランティア部

3. 自宅・寮での学習状況 (何時間位、集中できているか等)

1	2	3	4
2時間30分	2時間30分	2時間30分	2時間30分

4. 出席状況 (サイボウズ出席表により確認、欠課時数を提示して自分の状況を把握させる)

1	2	3	4
なし	なし	なし	なし

5. 進路に関する希望 (ACE の内容についても希望を聞く)

1	2	3	4
就職 日産化学 大塚製薬	就職 日産化学 大塚製薬	就職 日産化学 大塚製薬 四国電力 関西電力	就職 日産化学 大塚製薬 四国電力 関西電力

6. 生活指導 (服装、頭髮、ピアス、通学方法の確認、自転車等の登録等)

1	2	3	4
なし	なし	なし	なし

7. 特別な学習支援の希望・実施状況 (希望・実施内容を聞く、科目担当者と協議して対応する)

1	2	3	4
英語1 英文法	英文法	英文法 情報リテラシー	数学1 英文法 デザイン基礎

8. 授業等に関する要望等

1	2	3	4
数学1 ぐい進め ほしい	数学A ぐい説明は ほしい	デザイン基礎 壁紙の練習を多くして ほしい	デザイン基礎 壁紙の練習を多くして ほしい

9. 希望学科 (推薦・学力) 推薦入試希望学科: 電気電子 入学学科:

	1	2	3	4			
	(学力入試時)	希望	模擬結果	希望	模擬結果	希望	模擬結果
第1希望							
第2希望							
第3希望							
第4希望							

10. その他

部活でレギュラーになる。

学年順位 30番以内を目指す。

宿題毎日し、自主学習を1日最低2時間する。

部活動の練習に力を入れた。

テストの全教科で: 平均 93点以上を目指す。

部活動にまじめに取り組む。

その日習った教科書の復習を毎日続ける。

部活動で練習や試合を集中して行い、実力をつける。ミスのないプレイをする。

寮+学校の特別活動に積極的に参加する。

テストの全教科で平均 95点以上を目指す。

学習支援ミーティング記録簿(2・3年)

学習支援ミーティング記録簿(2・3年)

1. ミーティング実施日

回	実施日	実施時間	面談教員サイン	場所	学生サイン
1	6/1(木)	18:20~18:30	岸田	北108教室	平山
2	7/15(木)	18:12~18:25	一木	北108教室	平山
3	11/2(木)	18:45~19:00	岸田	北108教室	平山
4	1/1()	~			

2. 学生生活全般について(部活、アルバイトの有無等)

1	2	3	4
なし	なし	なし	

3. 自宅・寮での学習状況(何時間位、集中できているか等)

1	2	3	4
1時間	1時間	1時間	

4. 出席状況(サイボウズ出席表により確認、欠課時数を提示して自分の状況を把握させる)

1	2	3	4
○	○	○	

5. 進路に関する希望(ACEの内容についても希望を聞く)

1	2	3	4
就職	就職	就職	

6. 生活指導(服装、頭髪、ピアス、通学方法の確認、自転車等の登録等)

1	2	3	4
○	○	○	

7. 特別な学習支援の希望・実施状況(希望・実施内容を聞く、科目担当者と協議して対応する)

1	2	3	4
数学特別補習 E517202	1	1	

8. 不合格科目の回復状況(科目名、学生の取り組み)

不合格科目	単位数	回復状況	不合格科目	単位数	回復状況
基礎数学	4				
物理	1				
数学A	2				

9. 授業等に関する要望等

1	2	3	4
○	○	○	

10. その他

1 数学を中心に勉強する。

2 前テスト平均65点以上を目標にする。
不合格科目とリカス。

3 1年の数学1を必ずとる。
2年の数学2に2つと1つと1つと取る。
範囲先玉に算数をみてる。

4

学習支援ミーティングのデモ

【ananfd.anan-nct.ac.jp】（3月末）

学習支援PDCA(1)



学習支援ミーティング

学習支援ミーティング-1

学習支援ミーティング-2

第1週

講義

第2週

講義

第3週

講義

第4週

講義

第5週

講義

第6週

講義

第7週

講義

第8週

講義

第9週

講義

第10週

講義

第11週

講義

第12週

講義

第13週

講義

第14週

講義

第15週

講義

第16週

講義

授業評価

アンケート集計

授業改善
項目抽出

学習支援ミーティング

学習支援ミーティング-1

学習支援ミーティング-2

第1週
講義

第2週
講義

第3週
講義

第4週
講義

第5週
講義

第6週
講義

第7週
講義

第8週
講義

第9週
講義

第10週
講義

第11週
講義

第12週
講義

第13週
講義

第14週
講義

第15週
講義

第16週
講義

授業アンケート

授業アンケート

授業評価

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

授業アンケート

学習支援PDCA（１）



学習支援PDCA（2）



学習支援・成績情報

成績情報

学籍番号	123467
氏名	後藤田 浩二
よみがな	ごとうだ こうじ
グループ	制御情報工学科
学年	1学年
入学年度	2011年度
卒業年度	



【授業科目】

未修得単位

一般

専門

必修

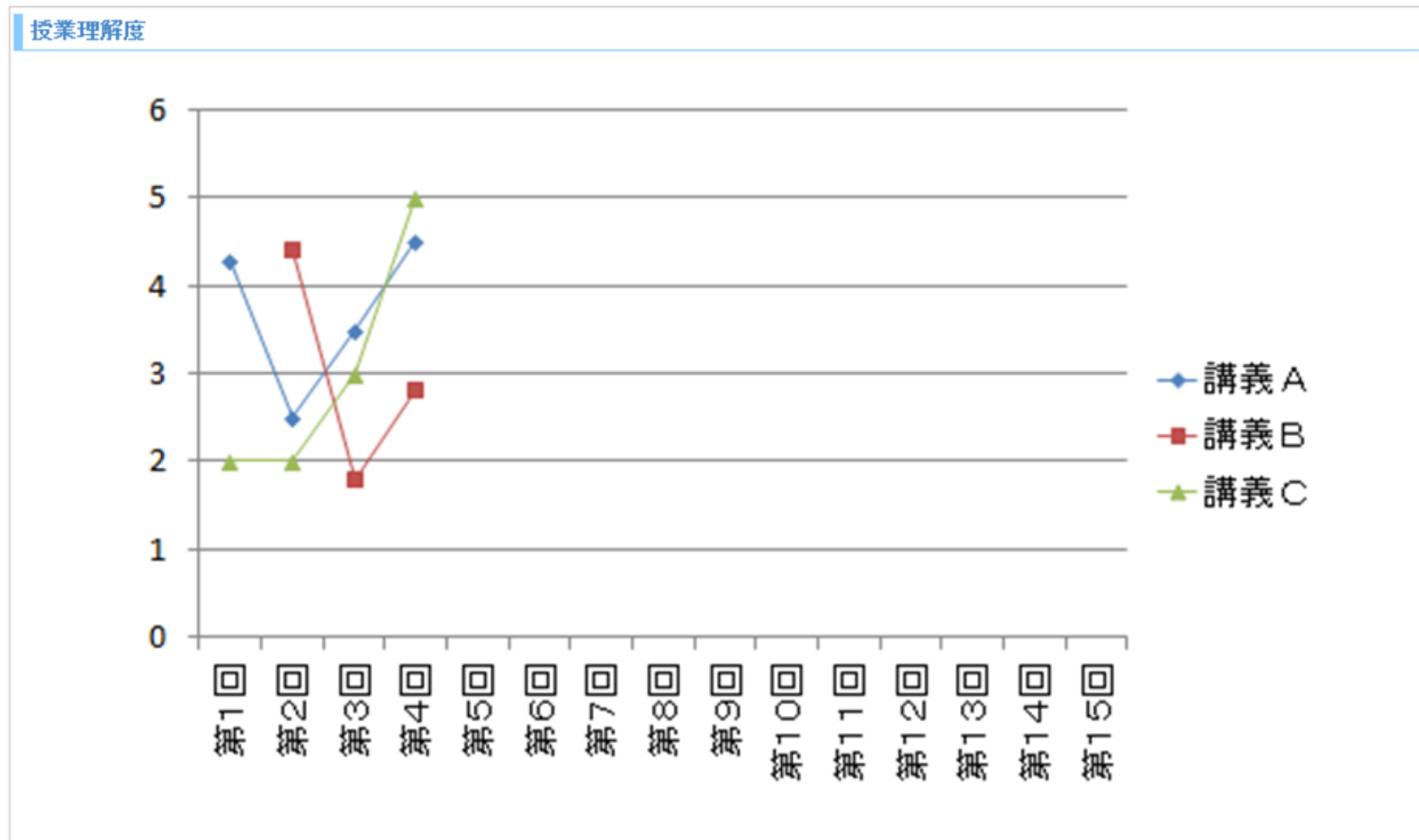
取得単位

【クラブ】

【寮生】

役員

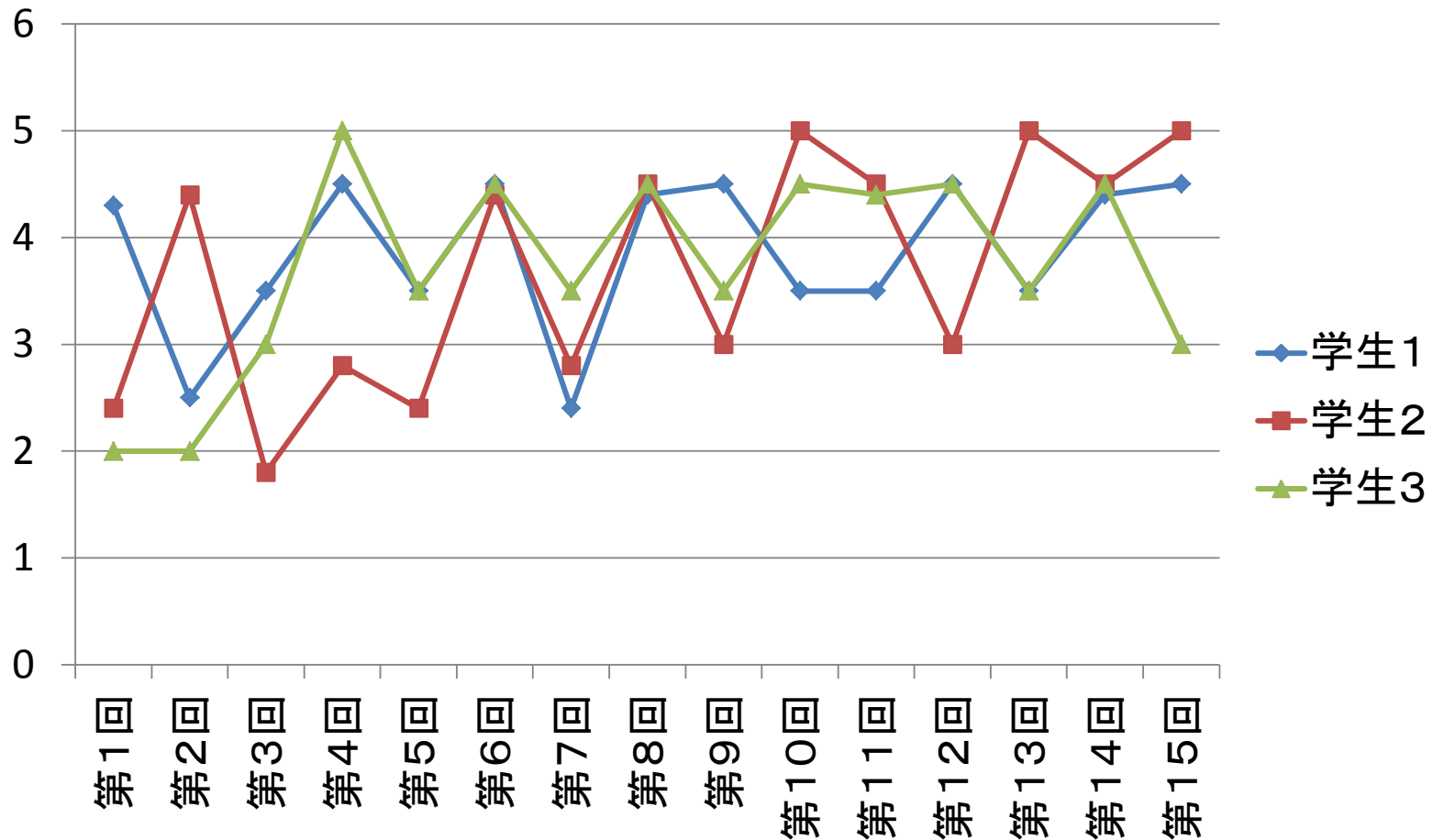
学習支援・レポート機能【見える化】



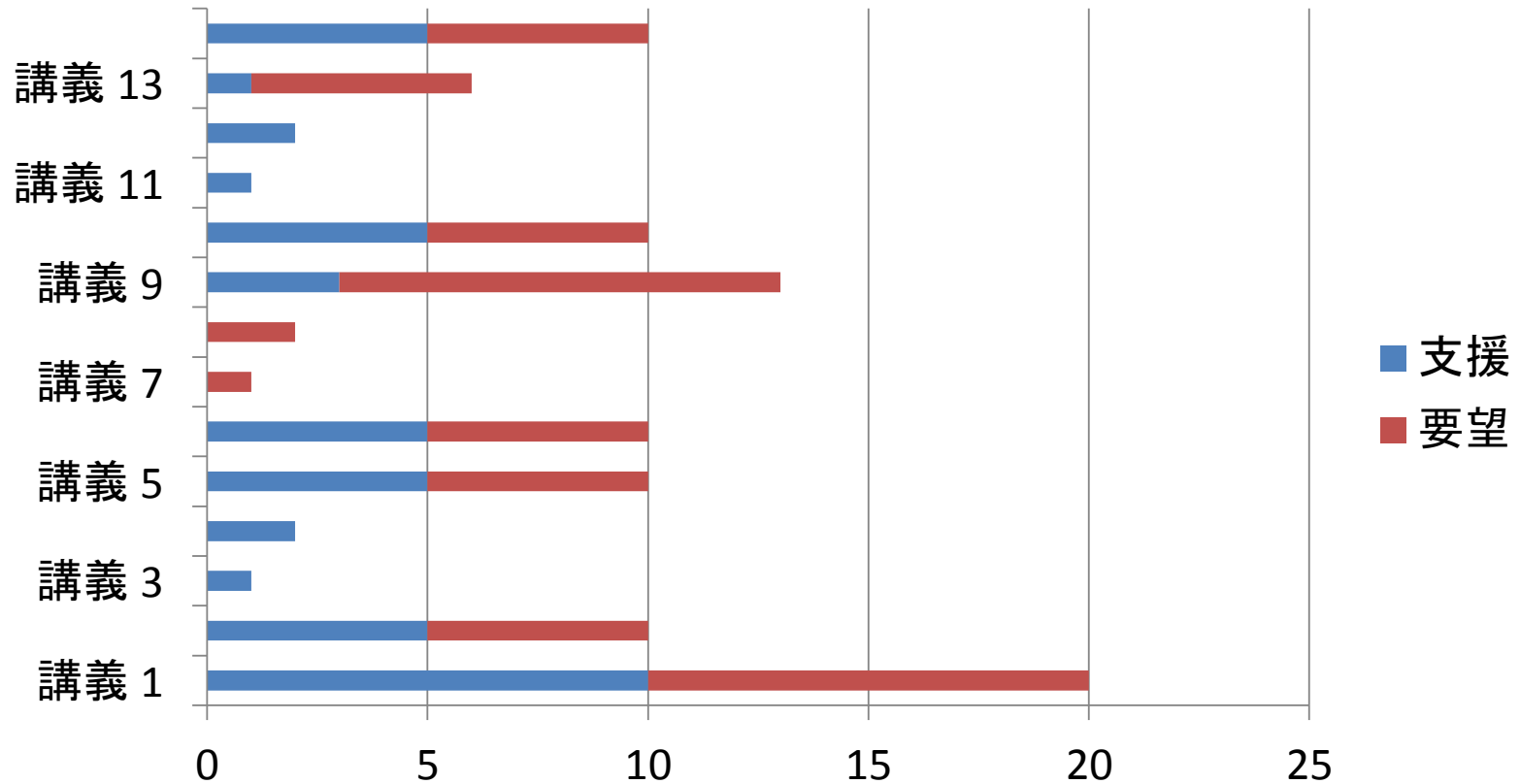
授業改善PDCA



授業改善・レポート機能【見える化】



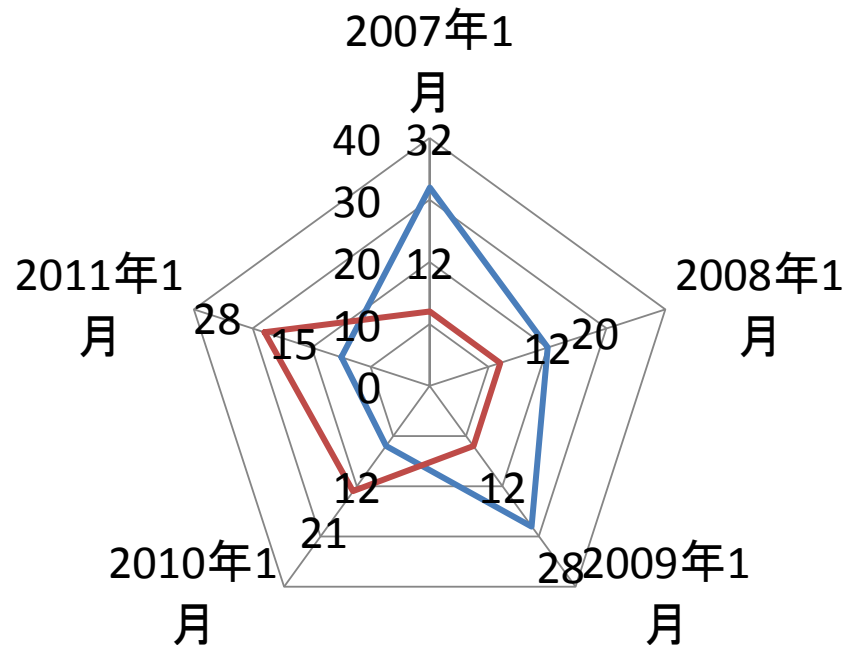
授業改善・レポート機能【見える化】



授業改善・レポート機能【見える化】

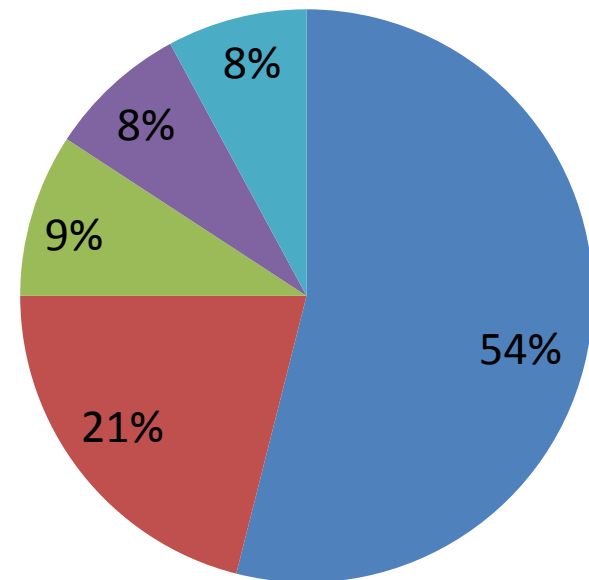
講義A

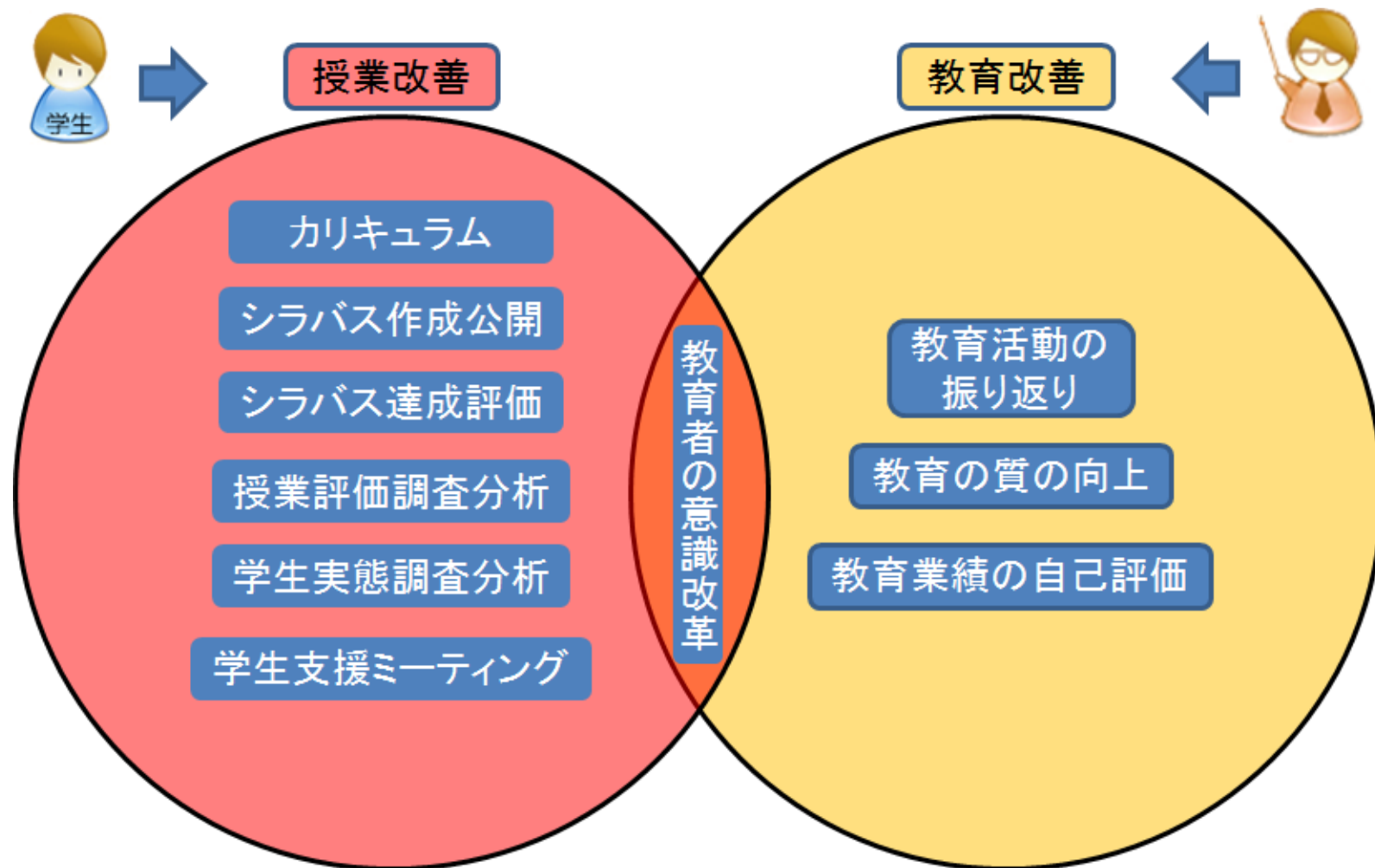
— クラス 1 — クラス 2

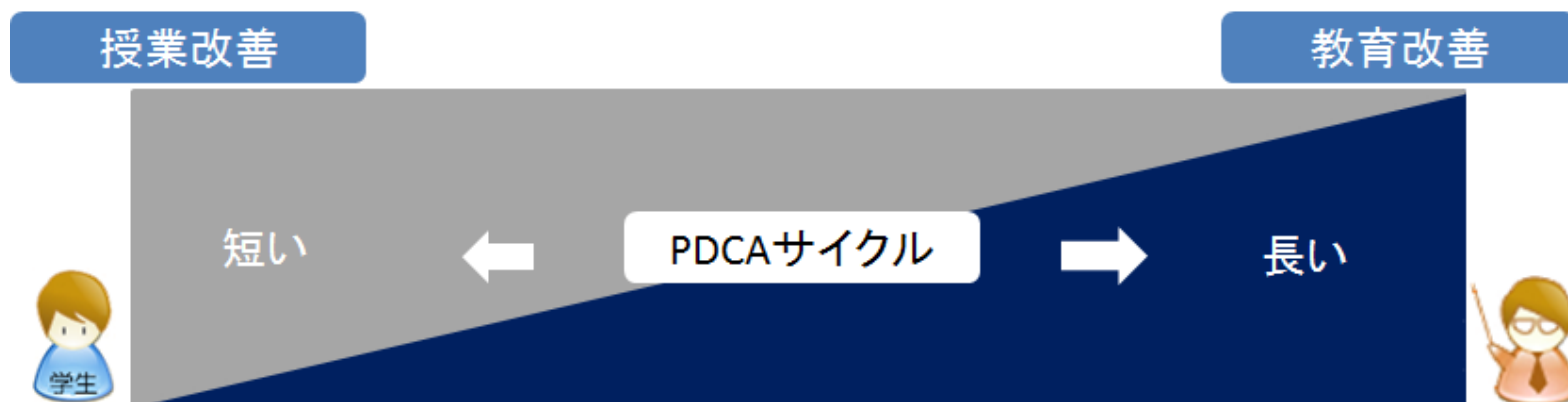


講義 A

■ 評価5 ■ 評価4 ■ 評価3
■ 評価2 ■ 評価1







1年

授業改善PDCA

シラバス作成公開

シラバス達成評価

学生支援ミーティング

2年～3年

IR

カリキュラム

授業評価調査分析

学生実態調査分析

FD活動改善

5年～6年

高専TP

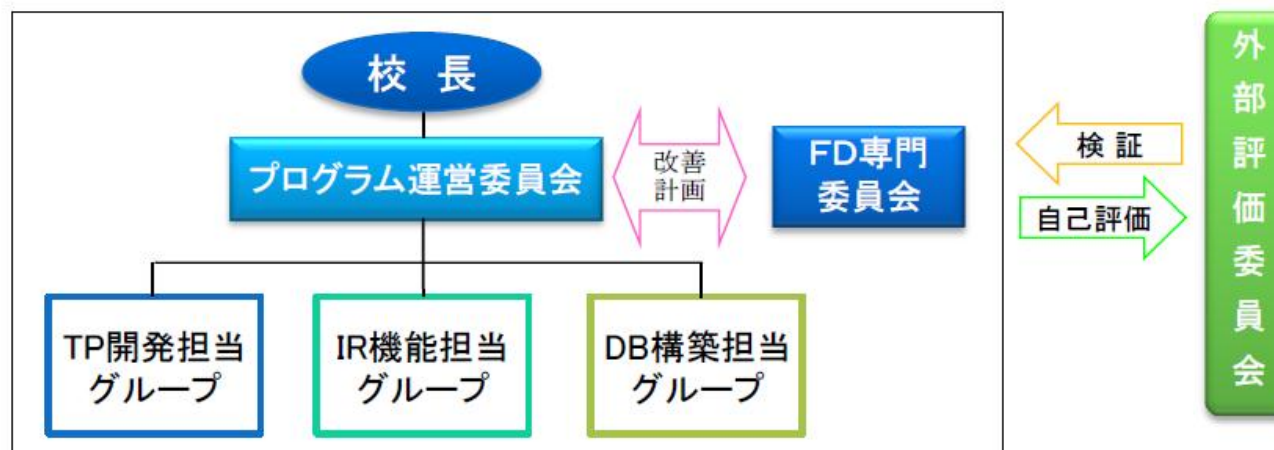
教育活動の振り返り

教育業績の自己評価

教育の質の向上

教育者の意識改革

■ 実施体制



本取組の実施体制

校長の指揮の下、教務主事(教務関連業務の責任者・副校長)を中心に、プログラム運営委員会が統括し、外部評価委員会による検証・評価をプログラム運営に反映する体制

プログラム運営委員会:

- プログラム運営を統括
- 点検・評価委員会(教育改善・自己評価担当)、技術部(総合情報処理室)、JABEE委員会(JABEE認証担当)のメンバーで構成



ご清聴ありがとうございました。

 阿南高専 FD高度化推進室
後藤田 浩二

gotouda@anan-nct.ac.jp